

小・中学校の現場見学を実施しました

「県境再生未来へのメッセージ推進事業」は、小・中・高等学校の児童・生徒を対象に県境不法投棄現場の見学を中心とした環境教育の場を提供するもので、青森県が平成16年度から始めた事業です。

6月末から7月中旬にかけて、地元田子町内の田子、清水頭、上郷の各小学校の高学年、田子中学校の1、2年生のほか、今年度は、馬淵川水系の下流域にある斗川小学校（三戸町）向小学校、南部小学校（南部町）の高学年が現場を見学しました。

不法投棄現場では、廃棄物の選別・積込施設などを見学したほか、不法投棄現場から流れてくる汚れた水をきれいにする浸出水処理施設（今年5月末に完成）を見学しました。

今後、それぞれの学校で学習の成果をまとめ、秋には学習発表会を開催する予定です。



バスを降りて整列



不法投棄現場の概要を聞く



現場を見渡して



廃棄物の選別・積込施設を見学

現場見学に参加した学校

見学月日	学 校	学 年	人 数
6月29日(水)	南部町立南部小学校	5・6年生	53名
6月30日(木)	田子町立田子小学校	5年生	53名
6月30日(木)	田子町立田子中学校	1年生	82名
7月 4日(月)	南部町立向小学校	5・6年生	72名
7月 7日(木)	田子町立田子中学校	2年生	92名
7月 8日(金)	田子町立田子小学校	4年生	52名
7月12日(火)	田子町立上郷小学校 田子町立清水頭小学校	4～6年生 4・5年生	計31名
7月14日(木)	三戸町立斗川小学校	5・6年生	47名